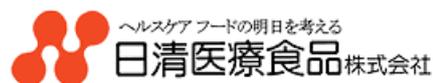


各位

2014年9月24日



〈災害訓練の取材のご案内〉

和歌山県立医科大学附属病院へ、ヘリコプターで食材物資を緊急輸送

**南海トラフ地震を想定し、
陸路やライフラインが寸断した状況での訓練を実施**

場所:和歌山県立医科大学附属病院

日時:2014年10月3日11時~14時

医療・福祉施設での給食サービスのリーディングカンパニーである日清医療食品株式会社（本社：東京都千代田区、社長：安道光二）は、10月3日（金）和歌山県立医科大学附属病院においてヘリコプターを使用した食材物資輸送の災害訓練を実施いたします。

この訓練の想定は、震度7の南海トラフ地震が発生し、電気・水道・ガスのすべてのライフラインが寸断。なおかつ津波・土砂崩れ・崩落などの影響で陸路も一部断たれている状況下で、日清医療食品が食事サービスを提供している和歌山県立医科大学附属病院に対して、早急な支援を行うものです。

訓練では、ヘリコプターを東京ヘリポートから長野県にある支援物資備蓄倉庫（長野県上高井郡）付近の場外離着陸場まで飛行させ、物資を積込んだ上で和歌山県立医科大学附属病院内のヘリポートへ搬送。和歌山県立医科大学附属病院にて非常食（通常食対応およびソフト食、形態変化食）250食分を調理・提供いたします。

日清医療食品は、医療・福祉・保育の現場でお食事を召し上がる方に対して、いかなる場合でも食事サービスの提供を継続できるよう体制構築を強化しています。今回の訓練では、東日本大震災後に整備した当社の食事サービスの災害時対応が、震災を想定した場合、実際に機能するかを検証する訓練です。

※ 尚、天候によりヘリコプターが飛行できない場合があります。訓練の中止につきましては、10月2日（木）10時の時点で判断し、ご連絡いたします。

－問合せ先－

日清医療食品株式会社 総務部広報課 担当：神戸（03-3287-3619）

訓練日時：2014年10月3日（金）

訓練概要：震度7の南海トラフ地震が発生。和歌山県立医科大学附属病院へ東京からヘリコプターで非常食を搬送、提供する訓練。

訓練会場：(1) 和歌山県立医科大学附属病院
(2) 支援物資備蓄倉庫（長野県上高井郡）および長野ヘリポート（長野県長野市）

■取材スケジュール 会場:和歌山県立医科大学附属病院 13階・14階

- 11:00～11:30 受付＊正面玄関から13F会場までエレベーターでお上がりください
- 11:30～12:15 ヘリコプターによる食材支援物資の搬入模様の取材
- 12:15～13:15 食材支援物資による調理模様の取材
- 13:15～13:30 非常食の試食
- 13:30～14:00 記者会見

（登壇者）

和歌山県立医科大学附属病院

一瀬副院長、瀧川危機対策室長、川村病態栄養治療部栄養士長

日清医療食品

菅井副社長(災害対策委員長)

齋藤課長(災害対策委員)、川崎係長(災害対策委員)

■訓練当日スケジュール ※訓練の状況により時間は前後する可能性があります。

時間	場所	内容
5:30	南海	震度7の地震発生
7:00～	本社(東京都千代田区)	災害対策委員会発足
8:00～	東京ヘリポート(東京都江東区)	ヘリコプター出発
9:20～	長野ヘリポート(長野県長野市)	支援物資積み込み
12:05～	和歌山県立医科大学附属病院	ヘリコプター到着・病院内へ物資を搬入
12:15～		炊き出し準備(支援物資で250食調理)
13:30～		記者会見

●日清医療食品株式会社 概要

医療・福祉施設・保育園などに特化した食事サービスの提供を行っており、この分野で最大手の企業です。全国の病院、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、その他の施設からの委託件数は合計5,200件以上で、1日約100万食の食事サービスを提供しています。「ヘルスケアフードのオンリーワン企業として、食を通じて日本の医療福祉サービスの質の向上に貢献する」を経営スローガンに掲げ、「おいしさ」と「安全性」を確保した食事の提供を行うとともに、新しい価値を生むサービスの企画・開発に取り組んでいます。
(2013年度の訓練時の様子)



ヘリコプターから物資搬出

病院にトラック到着



調理風景



メニュー例 (通常食)

以上